

日本骨髄バンクの現状（2001年8月末）詳細は別添一覧を参照下さい。

| | 前月 | 当月 | 現在数 | 累計数 |
|---------|-------|-------|---------|---------|
| ドナー登録者数 | 1,527 | 1,765 | 139,538 | 169,512 |
| 患者登録者数 | 141 | 166 | 1,603 | 11,203 |
| 骨髄移植例数 | 62 | 55 | - | 3,503 |

注) 数値は速報値のため次月以降に訂正されることがあります。

① 早期目標コーディネートの開始について（お知らせ）

当財団では、ドナー候補者の方への移植希望時期の通知と「早期目標コーディネート」を開始することになりました。これまでは、最終同意確認までは、患者側の移植希望時期をドナー候補者にお知らせしていませんでしたが、9月7日（金）以降は、確認検査の日程調整の時点と最終同意面談の日程調整の時点で、移植希望時期をお知らせすることとします。ドナー候補者にあらかじめ患者側の移植希望時期をお知らせすることにより、両者のニーズに沿った、より円滑な移植・採取調整が可能になるものと考えています。なお、移植希望時期は患者さんの状況や医療機関の都合により、いつでも変更となることがありますが、ドナー候補者にお知らせする情報ですので、登録責任医師の先生方には、できるだけ確実な時期をご連絡くださるようお願いいたします。また、「早期目標コーディネート」を開始します。これは、コーディネート開始時、登録責任医師が移植医である患者側の移植希望時期が60日以上120日以内登録責任医師からの早期移植の希望が出される——ことを条件とします。当財団の「コーディネート支援システム」で各行程ごとの目標日を計算させ、目標日を意識したコーディネートを行うものです。ただし、現在のコーディネートの手順等を変更するものではありませんので、必ずしも、早期の移植を約束するものではありません。

② 国に対し「骨髄バンク事業に医療保険適用」を正式要望

8月15日(水)、当財団は厚生労働大臣に対し「骨髄バンク事業に関する医療保険の適用について」(要望書)を提出しました。1昨年に引き続きの提出で、今回は、日本さい帯血バンクネットワークと連携しての要望となりました。要望事項は「骨髄移植(さい帯血移植)した場合、診療報酬として骨髄液(さい帯血)への350万円の点数新設」です。骨髄バンクは事業進展に伴い順調に移植件数が増加し、本年は年間750例を超えると予測されています。しかし、移植件数を伸ばし患者救命に努力すればするほど、財政的困難が深まる構造となっています。国庫補助金の大幅増額が医療保険適用がない限り、財団の財政破綻が目前にせまっているため、やむをえず、患者負担金増額の検討を余儀なくされている状況です。さらに、今回の要望書では医療施設の充実のため、1)非血縁者間造血細胞移植(骨髄移植、さい帯血移植)した場合、移植後90日まで1日あたり2万円の管理加算点数の新設 2)ドナー安全対策を強化するため非血縁者間骨髄採取に10万円の点数増額——の2点についても併せて要望しました。

③ 7月のドナー登録状況、イトーヨーカ堂の協力でキャンペーン実施

7月のドナー登録者数は1765人で、取消者数は656人、実質増加数は1109人という実績でした。キャンペーン登録会は8回と献血併行受付会34回で、計42回・733人の方にご登録をいただきました。都道府県別の開催数は、東京15回、沖縄12回、栃木2回、福島2回、広島2回、山形1回、大阪1回、秋田1回、大分1回、神奈川1回、北海道1回、愛知1回、埼玉1回、千葉1回、新潟1回でした。トピックスとしては、イトーヨーカ堂葛西店(東京・江戸川区)で7月20日(金)~29日(日)まで骨髄バンクキャンペーンが行われたことです。22日の骨髄ドナー登録会では62人、29日の献血併行型ドナー受付では32人の方々にご登録いただきました。期間中は「あやちゃんの贈り物展」(20日~22日)、親子ビデオ鑑賞会、ドナー体験者・移植経験者によるトークショー(28日)も催され、夏休み中ということもあり、多くの来店者の関心を集め、募金活動にもご協力いただきました。イトーヨーカ堂本社はじめ関係者の皆さまのご協力に感謝いたします。

4 国主催の「骨髄バンク事業関係者会議」全国6地区で開催（報告）

厚生労働省主催の「骨髄バンク事業関係者会議」が、8月8日（水）広島での会議をもって終了しました。これは、国が低迷傾向にある骨髄ドナー登録拡大について協議するため全国6地区で開催したもので、30万人ドナー登録者確保に向けた対策会議と位置付けられるものです。今回は特に「移動献血併行型ドナー登録受付を全国的展開する」と明確な方針を示されました。各地での会議では、支援団体と地区普及広報委員の方々から「事前折衝が煩雑」、「平日取り組みは困難」、「ボランティアに依存するシステムは脆弱」などの意見が相次ぎ、また、行政、血液センター、支援団体による地域推進連絡会（仮称）の定例開催、役割分担と体制確立が欠かせないとの意見も出されました。なお、厚生労働省は8月1日付けで、各省庁、都道府県、政令市、特別区に対し「骨髄提供希望登録者の確保について（依頼）」の文書を発出し、「各庁舎および管下関係機関における移動献血併行型骨髄ドナー登録会の実施、関係者間の連絡調整を促すこと」を依頼しました。今後、各地でドナー登録者拡大に大きな成果が得られことが期待されます。

5 アンディ・フグメモリアル大会で「骨髄バンクチャリティー募金」

96年K-1王者だったアンディ・フグさんが昨年8月24日、急性骨髄性白血病（急性前骨髄球性白血病）のため亡くなってから1年。フグさんの1周忌を記念して、8月19日（日）さいたまスーパーアリーナで「K-1 アンディメモリアル 2001 JAPAN GP 決勝戦」が開催されます（試合開始15時）。来場者には骨髄バンクリーフレットが配付され、会場入り口の骨髄バンク特設テントでの募金呼びかけも行われます。この試合は、日本テレビ系で8月19日（日）午後9時から放送されます。

6 第13回世界移植者スポーツ大会が開催されます

8月25日（土）～9月1日（土）、神戸市で第13回世界移植者スポーツ大会が開催されます。移植により再び健康を取り戻された方々が、世界各地から集い、陸上競技、水泳、テニス、ゴルフなどさまざまな競技を展開します。臓器移植を受けたことにより健常者と変わらない生活ができることを表現し、同じ病で苦しむ人たちには希望を、ドナーへは感謝を示し、より多くの人たちに臓器提供への理解を呼びかけることを目的としています。

（同大会事務局 電話078-230-0566）

7 『種まく子供たち』がドラマ化されます

小児ガンを体験した7人の記録、『種まく子供たち』（ポプラ社、1300円）のなかのエピソードがドラマ化されることになりました。8月18日（土）の日本テレビ系24時間テレビ「愛は地球を救う」内のスペシャルドラマ——「最後の夏休み」。白血病のため、骨髄移植ができなければ余命半年と診断されながらも、明るく、前向きにドナーを待つ女子高生の、人生最後の夏休みを描いた作品で、主演は「モーニング娘。」の安倍なつみさんです。（18日午後9時から10時30分）

8 新規コーディネーター募集にご応募ありがとうございました

新規コーディネーターの募集にたくさんのご応募をいただきましてありがとうございました。締切日までに2000通以上もの受講申請書が届き、現在、受講者の書類選考が進められています。

9 ドナーズネットにアクセスを（<http://www.donorsnet.net/>）

キャンペーンサイト「ドナーズネット」がオープンしてから1カ月が経過しました。現在は、名古屋での「友情」の1カ月のロングラン公演に出演中の渡瀬恒彦さんのインタビュー、格闘技ファンがアンディ・フグさんに寄せた熱い思いや、2度目の提供者に挑戦中の杉本はるみさんのインタビューなどが掲載されています。メールマガジンの発行も行っています。ぜひご覧下さい。

国際協力事業の状況（）、HLA照合サービス状況期間

| | |
|----------|--|
| 日本 米国 | |
| 米国 日本 | |
| 日本 台湾 | |
| 台湾 日本 | |
| 日本 韓国 | |
| 韓国 日本 | |
| その他の国 日本 | |

* 4半期ごとに掲載です。



お知らせ

当財団への問合せが減少しています。各団体や企業、サークル等の機関紙にドナー登録問い合わせ電話「財団フリーダイヤル0120-445-445」「ドナーズネット<http://www.donorsnet.net>」の掲載をお願いします。